

2018年2月28日

No. 18-056

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

県民の海外旅行に関する意識調査

～松山 ソウル線の認知度は高いものの、積極的利用意向は低い～

株式会社 いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 重松 栄治）では、このたび、愛媛県内の消費者アンケート結果を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、詳細は2018年3月1日発行の「IRC Monthly」2018年3月号に掲載いたします。

記

【調査概要】

- ・ 愛媛県内在住の個人を対象に海外旅行に関する意識調査を実施した。海外渡航経験を尋ねたところ、これまでに海外に一度も行ったことがない人は全体の3割であった。
- ・ 海外旅行に年1回以上行く人の割合は6.7%で、8割の人が「ここ3年程度行っていない」と回答した。また、「国内旅行は年1回以上行くが海外旅行はここ3年程度行っていない」人は半数を占めており、海外旅行はまだまだ心理的・経済的ハードルが高いと考えられる。
- ・ ここ3年程度海外旅行に行っていない人にその理由を尋ねた。「経済的余裕がない」が最も多く、次いで「休みがとれない」などが理由に挙がった。
- ・ 昨年11月に定期就航したLCC松山 ソウル線の認知度は79.3%と高かったが、利用意向については「利用する予定がある」が1.8%、「是非、利用したい」が9.0%となり、積極的利用意向は低かった。
- ・ 年齢別に松山 ソウル線の利用意向をみると、30歳以下で「利用する予定がある」（7.1%）、「是非、利用したい」（26.5%）の割合が高く、若年層の関心は高かった。
- ・ 松山 ソウル線はLCCで料金が割安だけでなく、ソウル到着後の乗り継ぎも便利である。LCCをうまく使えば、“お金や時間に余裕がない”人でも海外旅行を楽しむことができるのではないか。

はじめに

愛媛県民の海外旅行に関する意識や実態を把握するためアンケートを実施した。アンケートの概要は以下のとおりである。

調査概要	
調査対象	愛媛県内在住の個人1,600名
調査方法	伊予銀行本支店でアンケート票を配布し郵送で回収
調査時期	2017年11月下旬から12月上旬
回答状況	679(有効回答率 42.4%)
回答者属性	
有効なパスポートの有無	あり:34.3% なし:65.7%
性別	男性:33.5% 女性:66.5%
年齢	30歳以下:14.5% 30歳代:14.5% 40歳代:26.5% 50歳代:21.7% 60歳以上:22.9%

注:小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、内訳の合計が100%にならないことがある(以下、同じ)

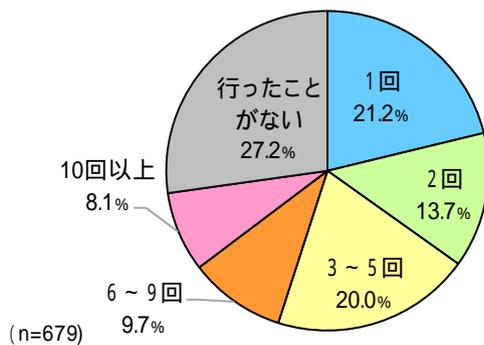
1. 県民の海外旅行に関する意識

(1) 海外渡航経験

~海外に一度も行ったことがない人は3割~

海外渡航経験(プライベートな旅行に限らず、ビジネスや留学も含める)を尋ねたところ、これまでに海外に一度も「行ったことがない」と回答したのは27.2%であった。

図表 - 1. 海外渡航経験

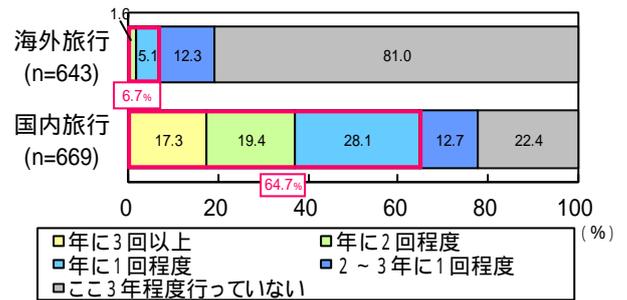


(2) 海外旅行および国内旅行の頻度

~海外に年1回以上行くのは6.7%~

海外旅行および国内旅行(ビジネスや留学は除く)の頻度を尋ねた。海外旅行に「ここ3年程度行っていない」との回答は81.0%と最も多かった。また「年に1回以上行く」人の割合は、海外旅行で6.7%、国内旅行で64.7%となった。

図表 - 2. 海外旅行および国内旅行の頻度

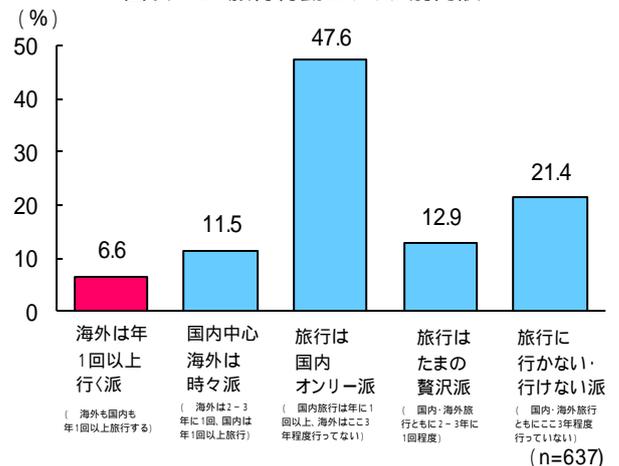


~旅行は国内オンリー派が半数~

海外旅行と国内旅行の頻度をもとに旅行行動をタイプ別に分類した。“海外旅行に年1回以上出かける人”は全体の6.6%、“国内旅行は年1回以上行くが海外旅行はここ3年程度行っていない”という国内中心派は11.5%であった。また、“国内旅行は年1回以上行くが海外旅行はここ3年程度行っていない”という国内オンリー派は47.6%と半数を占めた。

なお、ここ3年間で海外旅行に行った人に行き先を尋ねたところ、ハワイが33.9%と最も多く、次いで台湾(22.6%)、韓国(21.0%)となった。

図表 - 3. 旅行行動のタイプ別内訳



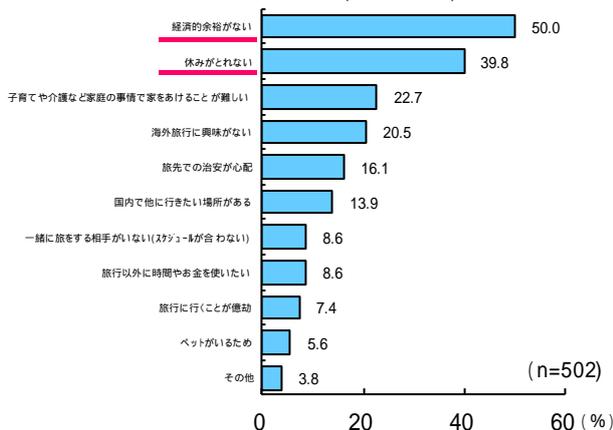
(3) 海外に行かなかった理由

~お金と時間の余裕がないため~

ここ3年間で海外旅行に行かなかった人とその理由を尋ねた。「経済的余裕がない」が50.0%と最も

多く、次いで「休みがとれない」(39.8%)、「子育てや介護など家庭の事情で家をあけることが難しい」(22.7%)となった。「とにかくまとまった休みが取れないので、取れたら行きたい」や「金銭的余裕がない上に人手不足で休みがとりづらくなった」などの声があった。海外旅行はまだ心理的・経済的ハードルが高いと考えられる。

図表 - 4. ここ3年間で海外旅行に行かなかった理由(複数回答)



2. 松山 ソウル線の認知度と利用意向

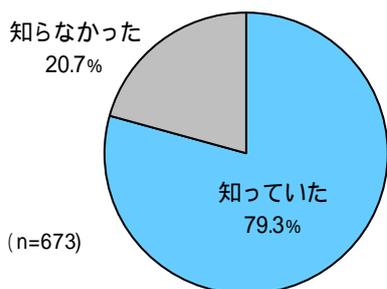
2017年11月に定期就航したLCC松山 ソウル線について認知度や利用意向を調査した。

(1) 松山 ソウル線の認知度

~ 県民の認知度は8割 ~

松山 - ソウル線の定期路線が就航したことを「知っていた」のは79.3%であった。ソウル線就航のニュースは新聞やテレビ等で大きく取り上げられたことから県民の認知度は高かった。

図表 - 5. 松山 - ソウル線の認知度



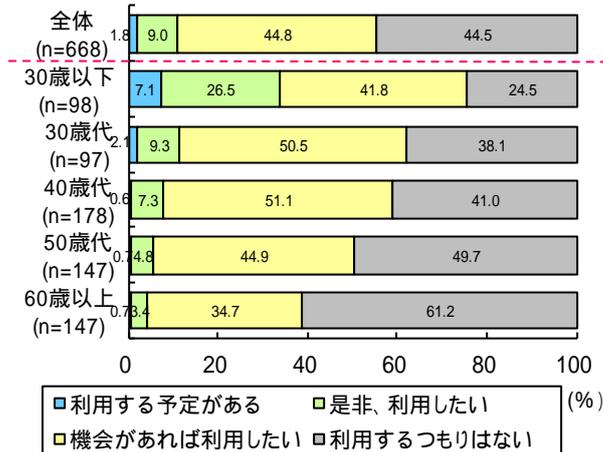
(2) 松山 - ソウル線の利用意向

~ 積極的利用意向は低い ~

松山 - ソウル線の利用意向を尋ねた。「利用する予定がある」はわずか1.8%であった。「是非、利用したい」も9.0%で積極的利用意向は低い。年齢別みると30歳以下では「利用する予定がある」(7.1%)と「是非、利用したい」(26.5%)の割合が高く、若年層ほど関心が高いことが分かった。

アンケートでは、LCC就航を歓迎する声がある一方、「反日感情のある国には旅行に行きたくない」や「韓国よりも台湾線を希望する」といった声もあった。

図表 - 6. 松山 - ソウル線の利用意向



おわりに

アンケートからは、海外旅行に対する心理的・経済的ハードルはまだ高いことがうかがえた。もちろん国内にも魅力的な観光地は多いが、松山 - ソウル線の就航をきっかけに海外にも目を向けてみてはいかがだろうか。松山 - ソウル線はLCCで料金が割安だけでなく、ソウル到着後の乗り継ぎも便利で、その日のうちに複数国に乗り継ぐことができる。料金が割安だけでなく利便性も高いLCCをうまく活用すれば“お金と時間に余裕がない”人でも海外旅行を楽しむことができるのではないかと。

(菊地 麻紀)